

「諏訪湖の日の制定の検討」WGの検討結果報告

1 開催状況

回	日 時	参加者（メンバー10名、事務局3名）	会 場
第1回	H30. 9. 28 13:30～15:40	7名（うち事務局3名）	諏訪合同庁舎
第2回	H30. 11. 14 10:00～12:00	10名（ ” ）	諏訪合同庁舎
第3回	H30. 12. 26 10:00～12:00	13名（ ” ）	諏訪合同庁舎
第4回	H31. 2. 12 13:30～15:40	11名（ ” ）	諏訪合同庁舎

2 検討結果

(1) 制定の趣旨・目的

➤ 諏訪地域の宝である諏訪湖に感謝し、諏訪湖の恵み^{※1}を将来にわたり持続的に享受していくため、諏訪湖を守り^{※2}、活かしていく^{※3}機運の醸成の機会として、諏訪湖の日を定める。

※1 恵み…自然、景観 など

※2 守り…浄化、美化、利水浚渫 など

※3 活かす…観光、レジャー、学び、健康づくり など

【参考】「諏訪湖の水環境保全等に対する住民意識向上のため「諏訪湖の日」の制定について検討します」（諏訪湖創生ビジョン p.92）

(参 考) 主な意見

制定を望む立場	制定を望まない立場
<p>➤ 後世に諏訪湖を残すため</p> <p>【きれいな諏訪湖として】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水質浄化は道半ば ・「水のきれいさ」へのニーズが高い <p>【魅力ある観光地として】</p> <p>【いつまでも利活用できる湖として】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土砂等で埋まり浅くなると、寂しい、生業として困る <p>【学ぶ対象として】</p> <p>【健康づくりの場として】</p> <p>➤ 賑わいづくり、地域の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光客をターゲットにしたい ・諏訪湖へのアクセス道路整備中 <p>➤ 諏訪湖で楽しむ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・諏訪湖を楽しむ過程で諏訪湖の美化や保全に関心が出てくる 	<p>➤ 水質浄化が進んでおり、日を制定しても浄化が進むか疑問</p> <p>➤ 一般住民は諏訪湖の現状に満足しており、諏訪湖に関わる仕事に従事している人しか関心がない</p> <p>➤ 新たな取り組みを行うことは、人手不足の中で負担であり、一旦始めると廃止は困難</p> <p>➤ イベント（楽しむ）を条件とした日の制定なら不要</p> <p>➤ （小学生にとって）諏訪湖は危険なところであり、関心を向けさせることは疑問</p> <p>➤ 諏訪湖創生の機運が高まってから日を制定すべきではないか</p>

▶地域住民にアイデンティティ（地域への誇り）を持って欲しい ・子ども達と諏訪湖の距離を縮めたい ・諏訪湖や地域を好きになってほしい ▶前掲の目的の「動機づけになれば良い」	
--	--

(2) 期 日

▶ 推進会議等での意見を参考に判断

(参 考) 主な意見

候 補 案	考 え 方																												
▶環境関係行事等にちなんだ日	<ul style="list-style-type: none"> ・語呂合わせ 5/3（ゴミの日） / 5/30（ゴミゼロの日） ・H30 諏訪湖一斉清掃 5/20、10/21 ・諏訪湖創生ビジョン推進会議設立日 5/28 ・全国の月間 6月（環境月間、環境の日6/5）、7月（河川愛護月間） ・水の日（全国） 8/1 ・諏訪湖流域下水道事業一部供用開始 S54.10.1 ・諏訪湖が湖沼水質保全特別措置法に基づく指定湖沼に指定 S61.10.31 																												
▶大きなイベントの開催に合わせる	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの人が諏訪湖に集まる ・一方、運営が大変な面があり、イメージがわからない ・イベントの開催日に合わせるのはナンセンス <p>【平成30年度の主なイベント】</p> <p>4月 諏訪湖開き（4/15） 5月 高島城祭（5/27） 7月 諏訪湖サマーナイト花火（7/22～8/26） / きつね祭り（7/28） / 諏訪よいてこ（7/28） 8月 お舟祭り（8/1） / 諏訪湖音楽の夕べ（8/5～11） 岡谷太鼓祭（8/13,14） / 諏訪湖祭湖上花火大会（8/15） / とうろう流し・花火まつり（8/16） 9月 全国新作花火競技大会（9/1） / 諏訪湖まちじゅう芸術祭（9/2～30） / 諏訪湖一周ウォーク（9/23） 10月 諏訪圏工業メッセ（10/18～20） / 諏訪湖マラソン（10/28）</p>																												
▶（日は制定するものの）週間・月間を定め行事を行う	<ul style="list-style-type: none"> ・諏訪湖に対する関心を高める動機付けとしては、同様な効果がある ・一定の期間を設定する場合、その期間外に行われている取組とのバランスは大丈夫か（→諏訪湖の日関連イベントの冠を付けてはどうか） <p>【諏訪湖関連行事の月別件数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> <th>9</th> <th>10</th> <th>11</th> <th>12</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>5</td> <td>11</td> <td>12</td> <td>18</td> <td>10</td> <td>9</td> <td>13</td> <td>7</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>113</td> </tr> </tbody> </table> <p>※諏訪湖一斉清掃：5月、10月</p>	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	件数	5	11	12	18	10	9	13	7	9	9	5	5	113
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計																
件数	5	11	12	18	10	9	13	7	9	9	5	5	113																

➤初島付近の活用を前提に「諏訪湖開きの日」か「GW上旬」	<ul style="list-style-type: none"> ・諏訪湖祭湖上花火大会の準備のため、7月第2週以降、初島は使用できなくなる ・5月は虫も出ず、気候的にもよい
➤日付や季節を固定しなくてよい	<ul style="list-style-type: none"> ・各団体が諏訪湖の日に取り組めるよう、毎年、諏訪湖の日を変更する ・日の制定の意義が問われる
➤閑散期	<ul style="list-style-type: none"> ・住民に目を向けさせるなら、関心が薄い閑散期に設定してはどうか

(3) 名称

➤「諏訪湖の日」

- ・分かりやすい
- ・諏訪圏全域で関心を高めるためには、日の名称ではなく、取組内容で工夫すべき

(4) 取組主体

➤「諏訪湖創生ビジョン推進会議」

- ・日の制定は、「諏訪湖創生ビジョン推進会議」における検討事項である
- ・推進会議は、県、市町村、民間団体、企業など、官民協働の組織であり、各々の強みを活かした取組が期待できる

(参考) 主な意見

その他の候補	考え方
➤長野県	<ul style="list-style-type: none"> ・民間だと住民に響かない。条例制定すれば継続性が担保される ※現在、長野県に日の制定を条例で規定するものは見当たらない ・日の制定の根拠を条例に求める場合、議会の審議過程でWG・推進会議の意向が反映されない可能性がある ・行政でビジョン、日程を示し、民間主導のイベントを行政が財政支援 ・一方、琵琶湖の日（滋賀県）では、民間団体での取組の機運がないとのこと。市民をいかに巻き込むかが重要
➤民間	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントを実施する場合、民間発想の方が面白く、人が集まりやすい

(5) 制定の趣旨に沿った取組

➤ 推進会議等での意見を参考に判断

候補案	考え方
➤既存の事業を一定期間に実施してもらう	<ul style="list-style-type: none"> 一定期間内に既存の行事をまとめるだけでもインパクトがあり、盛り上がる 既存事業の実施日の変更は、難しい面がある <p>※「びわ湖の日」～この夏！びわ活動（7/1～8/11）</p> <ul style="list-style-type: none"> 琵琶湖をきれいにしよう（4事業：美化活動） 豊かな琵琶湖を取り戻そう（7事業：特定外来動植物駆除） 琵琶湖にもっと関わろう（21事業：学び） <p>※「霞ヶ浦の日」～霞ヶ浦水質浄化強調月間（7/16～9/1）</p> <ul style="list-style-type: none"> 霞ヶ浦環境科学センター夏祭り（2018：体験学習・クイズ・PRコーナー、44団体出展、4800人）など
➤諏訪湖の浄化が大前提	<ul style="list-style-type: none"> 日の制定は、水環境保全が主目的だから
➤「ゴミの無い諏訪湖WG」の提案事業	<ul style="list-style-type: none"> 推進会議内で連携して取り組むべき
➤自分にあった取組を促せるもの	<ul style="list-style-type: none"> 「びわ湖の日」には、琵琶湖を守る活動をはじめ、琵琶湖に親しむ、暮らしから琵琶湖を考えるなどの活動が行われており、（住民に）自分にあった取り組みを促している
➤民間参入を促すための稼げる要素があるもの	<ul style="list-style-type: none"> 楽しい内容が期待でき、集客が見込まれる
➤大きなイベント	<ul style="list-style-type: none"> インパクトがある 一方、マンパワーが不足する中で、継続は負担であり、一旦始めると廃止は困難 様々なイベントがある中で、諏訪湖は選択されない
➤子供が楽しめるもの	<ul style="list-style-type: none"> 次世代を担う子供達の行事への参加が期待できる。子供が楽しめるものは親も楽しめる 一方、学校への負担や趣味が多様化する中で、諏訪湖が選択されるかが課題 <p>※諏訪市内小学校の夏季休業期間 H30. 7. 26 頃～8. 20 頃</p>
➤諏訪湖に感謝する趣旨のもの	<ul style="list-style-type: none"> 継続しやすい
➤推進会議構成団体以外にも事業参加を呼び掛けてはどうか	<ul style="list-style-type: none"> 構成団体はボランティア的の団体が多く、事業を苦しめる形になる
➤岳麓の人たちにも関心をもってもらえるようなもの	<ul style="list-style-type: none"> 諏訪湖の浄化・美化には、上流域である岳麓の人たちの協力が必要
➤具体的な提案	<p>【新規】 国際的なシンポジウム／構成団体の取組をラジオ放送／清掃の後に観光・健康の取組水辺空間のオープン化を利用した取組（カフェ・バーベキュー等）／小学校の諏訪めぐりで諏訪湖を眺めながら授業</p> <p>【既存】 一斉清掃／マラソン／ウォーキング／花火大会／サイクリング／スポーツゴミ拾い</p>

3 今後の進め方（案）

- 結論が出なかった検討項目（期日、制定の趣旨に沿った取組）については、今後実施する推進会議構成員へのアンケート結果などを参考にして、ワーキンググループとして「案」を決定し、推進会議に諮る。

以上